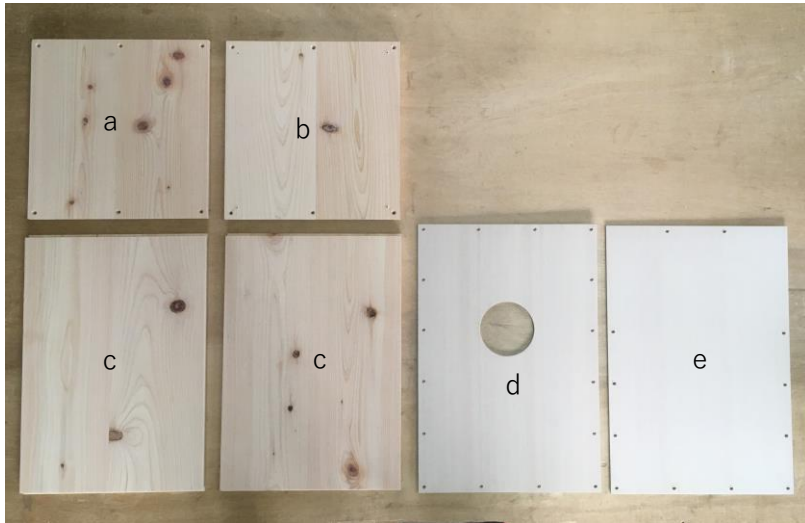
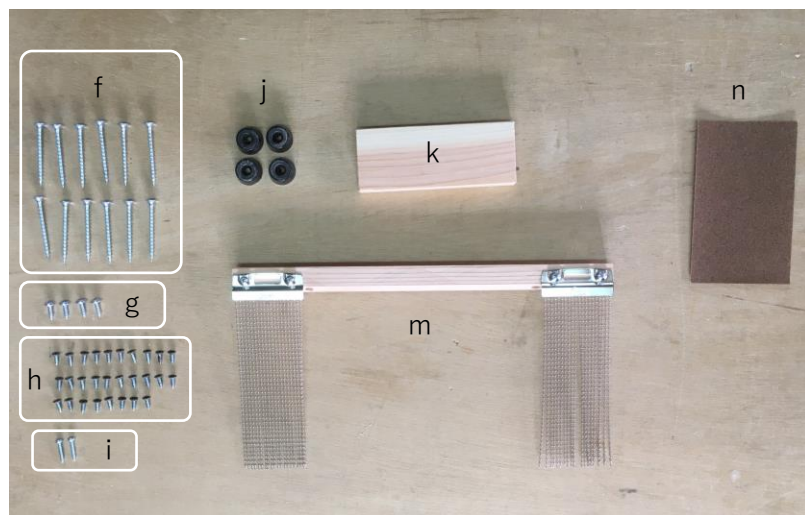


カホンを作るための材料



- a…天板(ビス6ヶ所)×1
[厚15/幅292/長300mm]
- b…底板(ビス穴10ヶ所)×1
[厚15/幅292/長300mm]
- c…側板×2
[厚15/幅292/長420mm]
- d…背板×1
[厚5/幅298/長438mm]
- e…前板×1
[厚3/幅298/長438mm]



- f…a、b用ビス(長さ45mm)×12
- g…j用ビス(長さ16mm)×4
- h…d、e用ビス(長さ10mm)×28
- i…m用ビス(長さ16mm)×2
- j…ゴム脚(高さ10mm)×4
- K…叩き木×1
- m…スナッピー付き部材×1 (針金で代用可)
- n…紙やすり (#120) ×1



準備する道具

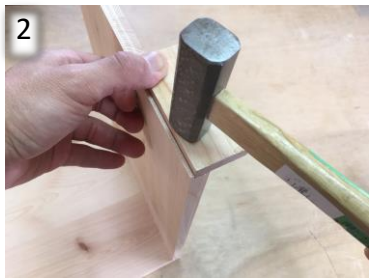
- u…木工ボンド
- v…へら
- w…玄翁 (トンカチ)
- x…電気ドライバー (プラスビット#2) (※)
- y…プラスドライバー (#2) (※)
- z…水で湿らせたウエス

※#は大きさを表す規格番号。
#2はDIYで用いられる一般的なサイズです。

カホンの組み立て方



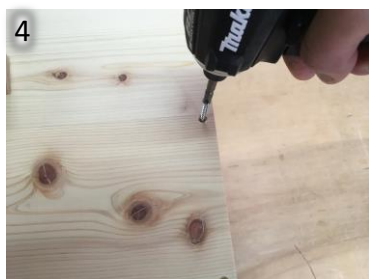
1) c のホゾに u を塗る。
v で均等に。ぬりすぎに注意。
v は歯ブラシや厚紙等で代用可。
(ホゾはズレ防止のためであり、電動ノコギリ等で作りますが、ホゾ自体、無くてもカホンは作れます。)



2) c のホゾを a、b の溝に入れる。
c の内外を確認し、両端を合わせる。
手で押し込んで入らない場合は、k の上から w で叩く。
外したい場合は、w で a (または b) の裏側を軽く叩く。



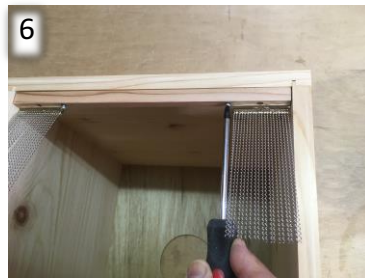
3) 四角に組み合わせる。
c 2枚を a (または b) に合わせてから、最後に b (または a) を合わせる。
この時、接合部のすき間は小さいほど良い。



4) f を x でねじ込み、本体を固定する。
接合部のすき間が無くなればOK。
固定後すき間を小さくしたい場合は、k の上から w で徐々に強く叩く。(叩きすぎに注意。多少すき間があっても、使用上問題ありません。)
u がはみ出た場合は、z で拭き取る。



5) b に j を取り付ける。
g と y を使用する。
j が指で動かなくなればOK。
x を代用する場合は、締めすぎに注意。
(締めすぎると j が破損します。)



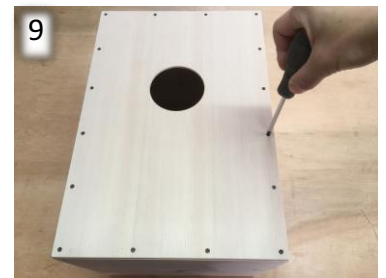
6) m を a の裏側に取り付ける。
i と y を使用する。
e を仮に当て、e と m をわずかに離す。
(1mm程度)
e と m が触れていたり、離れすぎていると音が悪くなります。



7) e を本体前面に取り付ける。
y で h を対角の順にねじ込む。
本体とのすき間が無くなればOK。
x を代用する場合は、締めすぎに注意。
(締めすぎると e が破損します。)
高音部である天側左右の角はネジ不要です。



8) m の響きを調整する。
打面(e)を表からたたいて音を確認する。
針金の響きを抑えたいときは、テープ等で e に固定する。



9) d を本体背面に取り付ける。
7) の工程と同様。



10) n で角や縁を研磨する。
触れたとき痛くないように、端やサウンドホールの角ばりをなだらかにする。
n の強度を保つため、三つ折りでの使用を推奨します。



11) 完成★